

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校采井協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月1日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 池田高等学校会議室  
開催にあたり、委員による授業参観及びSDGs Quest みらい甲子園 ファイナリストの生徒グループによるプレゼンテーションを実施した。
- 4 参加者

会 長	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
副 会 長	西川 昭	地域商工会等代表
委 員	宇野 秀宣	神戸町教育長
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長
	岡田 勝彦	神戸町立神戸中学校長
	寺戸 敏彦	池田町杉野区長
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア 神戸町立図書館運営協議会委員
	安田 正博	県青少年健全育成指導員 (欠席)
	林 康彦	育友会長
学 校 側	鈴木 彰	校長
	栗原 利樹	教頭
	若園 佳織	事務長 (欠席)
	吉田 一臣	教務主任
	稲葉由里子	生徒指導主事
	古山 克幸	進路指導主事 (欠席)

### 5 会議の概要(協議事項)

#### ○令和5年度の学校運営の基本方針と取組について

意見1: 授業参観では、どの生徒も楽しそうに授業を受けている様子が印象的であった。ユネスコスクールの理念をベースに生徒の育成に努めていることがわかりやすく具体的で、非常に素晴らしい。コロナ禍で困難であった地域連携が取れるとよい。

意見2: 学校が全体的に落ち着いていて、やわらかい空気がある。加えて先生方の表情が豊かでエネルギーで、生徒と人間関係を保ちながら教育を進めていると感じた。生徒に資質をつけるという意味で、探究的な学習を大事にしていることが分かった。またユネスコスクールということ誇りに思っている。

意見3: 生徒数の減少についてはどこの学校でも同じで、今までと同じ教育活動ができない、持続可能な教育活動を工夫していかなければならない、とマイナスな捉え方をしていたが、規模が小さくなることは動きやすさにつながると分かった。

- 意見4：自分の子どもも高校生になった。コロナ禍が3年間と長かったので、高校に入ってから「壁を乗り越えた」という感が子どもの中にあり、生き生きと高校に通っている。一方、主体性や一步前へ出ることには課題があると感じる。そのため声かけをしてもらえると気づくこともあるかと思う。学校や地域の人が一緒になって支えていって、どんどん主体的なところが出していけるようになるとよい。
- 意見5：非常にのびのびと学習を進めている姿がよかった。例年だと8月にハリヨの生態調査があり、生徒が一生懸命やってくれてありがたい。コロナ禍を経て、再び地域の他の行事でもボランティアの参加を期待したい。
- 意見6：どの生徒も大きなリュックで登下校をしている。タブレットが普及して教科書が減るかと思ったが、タブレットの分が増えただけのように思える。  
⇒教科書は必ず使わなくてはならないので、タブレットが追加という形になっている。
- 意見7：授業の様子もプロジェクターやホワイトボード、タブレットなど時代が変わったなあと感じた。また生徒同士の教え合いも学習の定着率が良くなると思う。ただ教育的観点から、整理整頓は改善の余地があると思う。これは心の表れでもある。始業の3分前に早く来て整理整頓の時間に充てると、遅刻も減るし、またその時間を生徒の発表の時間にすると自己肯定感も生まれ、いじめ防止にもつながるのではないかと。朝の数を工夫するとよい。
- 意見8：新型コロナが落ち着き、地域社会の中で総合的な探究の時間だけでなく様々なボランティアを通して、体を使って体験しながら、また人とコミュニケーションをとりながら学べる時がやっと来たというわくわく感がある。初めて会った人と話ができて、自分の意見や感想を伝えて、お互いコミュニケーションをとる力は今後ますます必要になってくると思う。そうした力をぜひ池田高校で培い、それを地域社会の中で身に付ける機会をどんどん作ってほしい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、参加全委員より今年度の本校の学校運営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、様々な制限が緩和された状況を迎え、地域連携活動に対する本校への期待の高さを改めて認識する協議会となった。また本校としても、単位制や個別最適化された学びを図ることで基礎学力を充実させるとともに、地域と協働した探究的な学びの中で、課題を「自分事」として捉えその具体的解決を図ることを通じて、持続可能な学びの姿勢と手法を培い、多様な生徒の進路実現を目指すことに理解と賛同を得ることができた。

今回頂戴した貴重な助言を糧に、今後も地域の期待に応える学校づくりを進めていきたい。